

別紙様式 2

授業科目名	子育て支援	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	前期
学部・学科等	子ども生活学部	曜日	木曜日
必修・選択区分	各大学等で決定される	時限（時間）	4時限 (14時45分～16時15分)
標準対象年次	全学年	授業形態	演習
単位数	1単位	授業会場	宇都宮共和大学長坂キャンパス
担当教員名	杉本 太平		
電話番号（代表者名）	028-649-0511	e-mail アドレス	sugimoto@kyowa-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p>&lt;授業の目標及びねらい&gt;          本講義は、保育者の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援についてその特性と展開を具体的に学ぶ。また、保育者の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に検討する。</p> <p>&lt;前提とする知識・経験&gt;          特く求めない</p> <p>&lt;授業の具体的な進め方&gt;          講義及び「ヒューマンレレーション・スキルトレーニング(Human Relation Skills Training)=HRST」としての行為法(心理劇・ロールプレイ)、保育・教育相談・子育て支援事例を通してグループワークでの事例研究を行う。</p> <p>&lt;授業計画&gt;</p> <p>第1週 保育所等が行う子育て支援とは何か、現代的な課題と子育て支援の必要性を理解する。          第2週 保育所における子育て支援の意味や、保育士が行う子育て支援の特性を学ぶ。          第3週 保護者との相互理解と信頼関係の形成、支援方法について、事例を通して考える。          第4週 支援のニーズに対する多面的な理解とアセスメントについて、子育て支援の事例から学ぶ。          第5週 相談・助言の基本技術、受容・傾聴・共感的理解について体験し、身につける。          第6週 子どもや家庭の状況の把握の方法を学び、支援計画や支援の計画・記録・評価・カンファレンスおよび環境構成について学ぶ。          第7週 地域の子育て支援の資源を調べ、関係者機関との連携、職員間の連携・協働について理解する。          第8週 保育所等における支援について事例を通して学ぶ。          第9週 地域の子育て家庭に対する支援について事例を通して学ぶ。          第10週 障がいのある子どもをもつ保護者への支援について事例を通して学ぶ。          第11週 特別なケアを必要とする子の子どもと家庭への支援について事例を通して学ぶ。          第12週 虐待の予防と家庭に対する支援について事例を通して学ぶ。          第13週 要保護児童等の家庭に対する支援について事例を通して学ぶ。          第14週 多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の支援について事例を通して学ぶ。          第15週 学んだことを振り返り、レポート課題を通して保育者が行う子育て支援について、配慮・重視すべき点について検討する。</p> <p>&lt;教科書・参考書・教材と入手方法&gt;          特く定めない。毎回の本授業用に作成した資料(子育て支援事例・参考資料)を配布する。</p> <p>&lt;成績評価法&gt;          授業内容の理解(20%)。事例研究・課題の提出(30%)、レポート(50%) 2/3(期末試験を含めて10回)以上出席しないと評価の対象としない。(単位を取得できない。)</p> <p>&lt;教員からのメッセージ&gt;          この授業では、アクティブラーニングを主体にしています。授業に積極的に参加して、受講者同士の交流やディスカッションも楽しんで下さい。特に、事例研究では支援者としての実践的なスキルアップを図れるように取り組みましょう。</p>		